

はい!

やくも町議会です

第 73 号
令和 4 年 5 月
編集 / 議会広報広聴常任委員会

町内で約15%の公園遊具
が使用不可となっている。
必要な箇所は更新すべき
と思うが。 大久保

「子育てしやすいまちづくり」を進める八雲町だが、
多くの公園では、使用禁止となった遊具が何年も放置されています。

映像配信中! YouTube
「八雲町議会」で 🔍 検索



主な内容

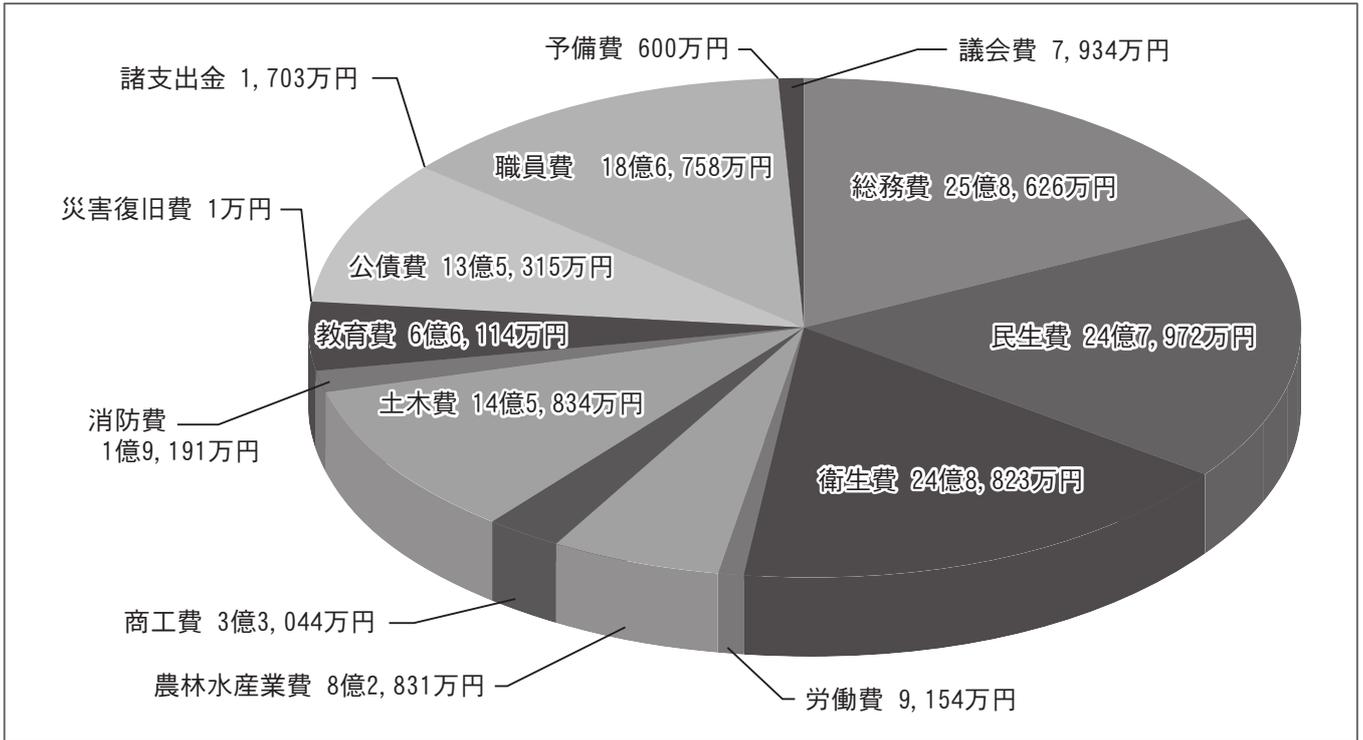
	ページ
○令和 4 年度予算概要	②
○令和 4 年度予算ここが知りたい	⑥
○6名の議員が町政を問う(一般質問)	⑩
○議決・賛否一覧他(定例会・臨時会)	⑬
○特集!ウニの畜養実証試験	⑱
○常任委員会の活動(所管課報告)	⑳
○八雲青年会議所の皆さん(耳をすまして)	㉒



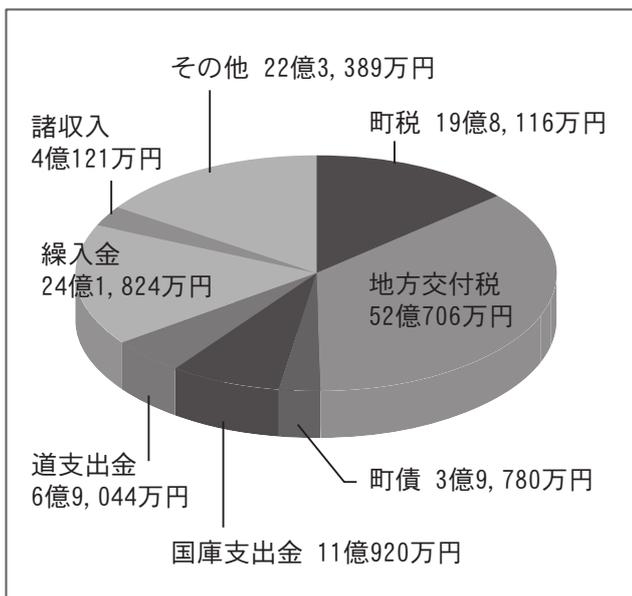
予算 144億3,900万円

予算総額287億5,509万4千円

一般会計歳出 144億3,900万円



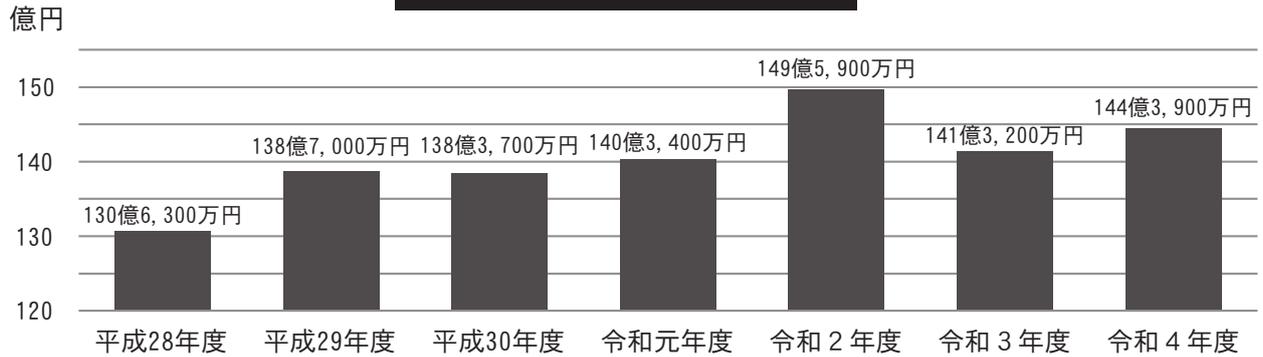
一般会計歳入 144億3,900万円



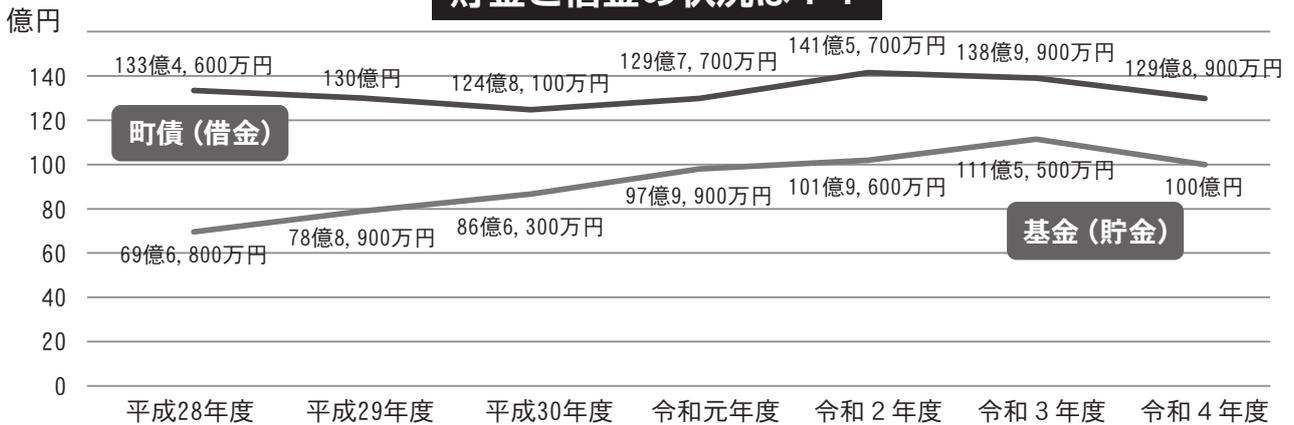
令和4年度会計別予算

一般会計		144億3,900万円
特別会計	国民健康保険	27億137万円
	後期高齢者医療	2億4,536万円
	介護保険	20億6,888万円
	熊石地域簡易水道	8,404万円
	下水道	7億7,405万円
	農業集落排水	1億6,028万円
企業会計	病院	76億8,725万円
	水道	5億9,486万円
合計		287億5,509万円

一般会計予算の推移



貯金と借金の状況は??



令和3・4年度は見込み

予算特別委員会付帯意見

ファイナリーやウイスキー蒸留所などの誘致を、特定政策として進められておりますが、これらの全体像の計画が示されていない、不透明なまま進められております。

また、二海サーモン養殖事業については、事業の全体計画及び財政計画が示されないまま、その一部分であるサーモン種苗生産施設整備事業が、令和4年度予算に計上されております。

八雲町自治基本条例の第40条で「行政は、総合計画に基づいて予算を編成し、中長期的な財政見通しに留意しながら計画的かつ健全な財政運営を図るものとし、これを規定されております」と規定されており、これらの事業の進め方はこれに合致するものとは到底思えるものではありません。

審議においては、特定政策、二海サーモン養殖事業については、詳細や全体の事業計画が示された時点で説明を受け、改めて協議したうえで事業を進めていくことを期待し、審査を終えたものであります。

事業の実施にあたっては、事業の目的や進め方を明確にし、丁寧かつ慎重に進めることが重要であるということを確認され、取り組まれることを強く要請するものです。

第1回定例会

令和4年3月9日～3月16日

議案22件、同意1件、諮問3件を審議し、いずれも賛成多数で原案どおり可決しました。

1億3,577万1千円

サーモン海面養殖を推進するためのサーモン種苗生産に対する経費

関連事業

八雲地域サーモン養殖試験事業	66万9千円
熊石地域サーモン養殖試験事業	4,145万5千円
北海道二海サーモン推進事業	251万3千円

U・Iターン就職奨励金事業 3,000万円



産業振興及び労働人口減少対策として、U・Iターンした者で転入してから1年以内に正規雇用されたものに対し奨励金を交付

海岸漂着物処理事業 1,565万3千円



流木及び浮き球等の廃プラスチック類の大量漂着に伴う漁業被害防止と船舶の安全航行の確保並びに海岸環境の保全を目的とした漂着物回収処理事業
回収区間：黒岩大川地区から山崎川 約2.3km

落部地域合葬墓整備及び管理事業 455万3千円

家族、身元引受人、その他関係者の申し出による遺骨の合同永年管理



八雲地域合葬墓

注目事業

地域おこし協力隊配置事業 1億81万8千円

「地域活動」に従事する都市住民を受け入れし、その後の定住を目指す

計画数：継続13名、新規10名



その「やる気」を活かします！

木彫り熊デザイングッズ企画開発事業 880万円

人気が高まりつつある木彫り熊の魅力発信に合わせて町のPRを実施

事業内容：デザイングッズの企画販売など



令和4年

第1回定例会は上記の日程で開かれ、令和4年度予算、令和3年度補正予算、条例改正など

地域公共交通網形成事業 2,205万9千円



「役に立つ」足を
考えていこう！

「役に立つ」足を
考えていこう！
引き続き、八雲地域の新たな
バス路線の試験運行
間予約バスの運行に引き
続き、八雲地域の新たな
バス路線の試験運行

サーモン種苗生産施設整備事業



総合ハザードマップ作成事業 450万4千円



津波浸水想定区域、洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域を1冊にまとめ、避難場所及び危険個所を示した総合ハザードマップを作成し配布

熊石総合支所暖房設備改修事業 1,206万7千円

暖房設備改修工事 FF温風暖房機を18台設置



令和4年度

新役場庁舎整備事業 5,532万8千円

役場本庁舎及び公民館等を集約化した新庁舎の整備基本設計及び執務環境プラン策定支援業務



ふるさと応援寄附金積立金 12億円





あんどう たつゆき
安藤 辰行 委員長

今年の予算！

総務費

地域公共交通網形成事業

Q 八雲町内の公共交通網の早期実現が必要ではないか。町民の要望調査はするのか。(関口)

A 八雲地域の試験運行についてはスケジュールや運行経路など、関係機関と協議しながら考えていく。(課長)

A 調査については、沿線自治体や関係機関と研究会を立ち上げたことを考えている。(町長)

街路灯設置費等助成金

Q 街路灯の設置は、全額町で助成してはどうか。それと津波で避難する時、高台にソーラーの街路灯を設置してはどうか。災害に強い町としてPRできると思う。(牧野)

A 街路灯は町内会が管理しているもので、要望等を聞きながら検討したい。避難所や高台への設置についても検討したい。(町長)

Q ゆめ議会のときに、八雲高生から、クマの出没もあり街路灯が必要といった質問に対し、町長は、

町内会で合意ができれば応援すると答弁していたが、その真意は？(三澤)

A 街路灯は町内会が設置することが基本であるが、町内会と話し合いをしながら考えていきたい。(町長)



熊石地域審議会

Q 熊石地域審議会の委員報酬が昨年と比較して大幅に増額しているが。(牧野)

A 町長の諮問機関であるが、議会のようなかたちで幅を広げたいと思っている。定例会は年4回の開催、全員協議会的なものを年数回の開催を見込んでの増額となっている。(課長)

自治体情報セキュリティ強化

Q サイバー攻撃にも対応しているのか。(三澤)

A 技術面、費用面においても絶対と言いつける対策は困難であるが、可能な範囲で最大のセキュリティ対策を実施している。

具体的には、サイバー攻撃を受けても情報が漏れないようインターネットと分離しながらセキュリティ対策を講じている状況であり、職員も定期的に勉強しながらセキュリティに対する意識を高めている。(課長)

Q セキュリティ対策のために良い人材の確保を。(三澤)

A セキュリティやITに関わる職員の確保を強化していきたい。(町長)

地域おこし協力隊配置事業

Q 地域おこし協力隊の定住率は？(関口)

A 平成25年度に開始してから現在まで27人を受け入れている。退職者14人のうち10人が定住者で、定住率は71%となっている。(課長)

Q 地域おこし協力隊の活動費の考え方は？(三澤)

A 活動状況によって違いはある

委員会質疑

ここが知りたい



あかい むつみ 赤井 睦美 副委員長

が、主な活動費として家賃やレンタカー代も含まれている。なるべく協力隊員に負担がかからないように予算計上している。(課長)

災害備蓄品整備事業

Q 自衛隊と協力しながら、災害対策のための炊き出し訓練などの実践は可能か。(赤井)

A 2年ほど前に航空自衛隊八雲分屯基地と話し合いをしたことがあった。コロナが落ち着いたら実現させたいと考えている。食料の備蓄に関しても、新庁舎建設を見据え、しっかり考えていく。(町長)

Q 炊き出しなど、町内会の応援も必要だと思うが。(三澤)

A 町内会に頼るのは難しいと考えるが、情報交換をしながら進めていきたい。(町長)

コミュニティ助成事業

Q 町内会活動以外でも、たとえば子ども食堂だとか、町内会を超えた取り組みに対しても、コミュニティ助成の対象としてもよいのではないか。(三澤)

A 町内会以外の活動もコミュニティ助成の対象とすることについて

では研究してみたい。また、町内会への助成の仕方も考えていきたい。(町長)

地域会館整備事業

Q 各地域会館も老朽化し、建替えが必要なのも理解できるが、人口減少を考えたとき、会館の統合や公共施設の利用なども考えられるのでは。(赤井)

A 会館の規模・使用人数・利用実態等を調査し、建替えや統廃合などを考えていく。(課長)

A 会館の問題はいろいろあるが、熊石地域での町民が集まれる場所として、たとえば移動可能なサロンカーのようなものを考えてみたい。(町長)

選挙費

Q 期日前投票における移動投票所のための予算が計上されていないが。(三澤)

A 公用車を使用するなど、新たに予算を計上しなくとも対応できると判断している。現在は地域の回り方を検討しており、4月以降、各町内会等に説明にいきたいと考えている。(事務局長)

民生費

コミュニティ助成事業

Q 緊急通報装置は必要な人に届いているのか。新しいものは使い勝手の良いものになっているのか。(倉地)

A 現在135台を社会福祉協議会に管理を委託している。対象者は民生委員が調査のうえ設置しているの足りないという状況ではない。使い勝手でいえば、電話機のほかにワイヤレスのペンダントがあり、倒れた場合などに消防に通報が入る仕組みになっている。(課長)



商工費

本町のロードヒーティング

Q 空き店舗前などのロードヒーティングのない区間の除雪体制はどうなっているのか。高齢者は融雪溝に雪を捨てるのも大変だ。

(黒島)

A 除雪については、商店街組合とも協議していく。(課長)

A 融雪溝の水が足りない問題は、道路を管理している北海道と協議している。(町長)

林業費

有害駆除対策事業

Q 駆除報償費の内訳は？(牧野)

A ヒグマは5万円、エゾシカは1万3千円、タヌキ・アライグマは4千円。出勤報償費は1万6千円となっている。(課長)

Q 駆除した頭数は？(牧野)

A 駆除頭数は、令和2年度はヒグマ34頭、シカ173頭、令和3年度はヒグマ20頭、シカ200頭となっている。(課長)

水産費

サーモン種苗生産施設整備事業

Q 熊石地域にある北海道の施設と上八雲にある施設を取得した場合、修繕にかかる費用は？(赤井)

A 熊石の施設については老朽化のため改修には2〜3千万円、また、機械器具の定期的な更新などに数百万円の維持管理費が必要と言われている。

上八雲の施設については現状のままでも使えるのではと認識している。(課長)



水産試験場道南支場 (熊石)

Q 今までの養殖試験にかかった経費の内訳と、施設の取得にかかった経費の財源内訳は？(赤井)

A 養殖試験にかかった経費の内

訳は、令和2年からの2サイクル目については、町の補助金が約1

630万円で、そのうち施設整備

に約1200万円、種苗購入費に

270万円、餌代に約150万円

が主な経費となっている。

施設の取得にかかる経費の財源

内訳は、ふるさと納税の基金繰入

で3千万円、企業版ふるさと納税

で1千万円、そのほか過疎債で4

270万円を予定している。

Q 種苗購入費165万円の内訳は？(三澤)

A 海外からの輸入で、2ロット

10万粒を予定。(課長)

Q 種卵購入後、民間会社と共に

始めるといふことか。(三澤)

A 4月に施設を取得後、すぐに

種卵を購入し、ふ化を始めていく。

海面養殖に適応するサイズになる

には1年半以上かかるため、事業

化を目指すには早い方がよい。

令和4年度中に関連企業と協議し

ながら進めていく。(課長)

Q ふ化作業は誰が担うのか。

(三澤)

A 町のほうで2名採用の予定。

(課長)

ダムのスリット化

Q サケマスの漁獲量について、日本海側ではダムにスリットを入れてから4年後には結果が出た。

八雲町でもダムのスリット化を北海道に強く要請するべきではないか。(三澤)

A スリット化も幾分影響がある

と思うが、一概には言えない。

(町長)

コンブ礁造成事業

Q 八雲・落部両漁協のコンブの水揚げが減っているが調査はしているか。コンブ礁造成事業はまだ続くのか。(黒島)

A コンブ漁場調査の結果、栄浜

地区の漁礁は芽が出ており、成長

状況・繁茂状況から令和4年度に

期待しているところである。

事業については、令和12年度まで

全体で650基を入れる予定。

(課長)



病院事業会計

相生町医師住宅

Q 相生町医師住宅の管理について、年間5千万円の費用がかかっていたと思うが、現在の年間経費と節減額は？（佐藤）

A 年間の経費は約300万円となっている。令和3年6月に5億1千万円で購入したが、この先支払う賃借料6億8千万円と比較し、約1億7千万円ほどの負担軽減となる。（課長）

Q 現在の管理は？（佐藤）

A 維持管理については、民間の業者に委託している。毎年の見積もり合わせにより委託先を選定している。（課長）

出張医

Q 八雲総合病院の外来診療は出張医の数がとても多く、患者からの不平も聞こえる。これだけ出張医が多いと信頼できる体制とはいえないのではないか。（能登谷）

A 医師配置は、こうした体制を取らざるを得ない。医師確保に向けて大学の医局とパイプを作っ

いく。（事務長）

医療機器器具整備事業

Q 白内障の手術装置は今回初めての導入か。（倉地）

A 白内障の手術装置については更新となる。今までも白内障の手術は行っていたが、症状によっては函館に転院するようなケースでも、今後は八雲で手術が可能となる。（事務長）

熊石国保病院

Q 町長は熊石国保病院の改築について、院長先生との話し合いが継続中であることを理由に結論を出していない。町長の言う「方向性」とは何か。（佐藤）

A 熊石地域で医療を継続していくるように、今の医療体制を維持できるような方法を院長先生と話し合っている。（町長）

Q 具体的には？（佐藤）

A 次の院長先生として、50代前後の若い先生を招聘し継続していくこと。更に八雲総合病院と熊石国保病院の連携をしっかりとやっていくこと。（町長）

反対討論

（病院事業会計予算）

今定例会初日に、熊石国保病院建替事業の実施設計業務委託料と用地取得費の全額減額補正が議決となつたが、令和4年度当初予算にも計上ゼロであり、八雲町総合計画実施計画書にも、今後3ヶ年の事業費が未定と記されている。

昨年、熊石町内会連絡協議会から提出された、「45床での建替」を求める1556筆の署名の重みをどのように受け止めているのか。

町長は熊石国保病院の建替について、院長先生との話し合い継続中を理由に結論を出していない。「方向性が決まれば、速やかに予算を補正するつもりだ」と述べているが、「方向性」とは何を指すのか？

町民や議会に、町長の考える「方向性」を明らかにしたうえで、老朽化が著しく、耐震化もされていない熊石国保病院建替事業に早急に取りかかるべきである。

以上の理由から病院事業会計予算に反対する。

（佐藤智子議員）

反対討論（一般会計予算）

サーモン養殖事業について、以下の点で疑問があるため賛同することができません。

①自治基本条例を遵守していない。
②事業全体の予算や計画が明確でなく、一部だけ示されても大きな不安が残る。

③「赤字ならすぐ手を引く」との説明があつたが、その場合の施設がどうなるのか不明である。

④漁業者全体にとって、どのようなメリットがあるのか見えない。
⑤総合計画に明記されていないため、わからないことが多い。

以上のことから反対討論とさせていただきます。

（赤井睦美議員）

賛成討論

各委員が施策に対し注意喚起・提言したことを、真摯に受け止めるといふ町長や執行部側の発言もあり、期待を込めて賛成討論とする。

（三澤八雄議員）

一般質問

町政を問う!

※質問した議員本人が原稿を書いています。

一般質問とは？

町の仕事の全てを問いただし、自由な意見を述べ、それについて町の公式見解を引き出すことのできる機会。華やかであるが「力量」が問われる。

Q

浸水区域に消防署を建てるのか

A

他に適地なく総合的に判断した

おおくほけんいち 議員 大久保健一

問

八雲消防署落部出張所併設第6分団格納所を落部駅前に移転したいとの説明があったが、そこは津波浸水想定区域である。東日本大震災大津波の教訓から、場所を再考すべきではないか。

町長

八雲消防署落部出張所は老朽化と手狭なため令和4年度に土地取得を検討している。予定地は土地のかさ上げや建物構造などを考慮し建設することで、最小限の被害で食い止めることが可能であり、迅速な救急・火災等の対応が可能な場所として進めていきたい。

問

冬の深夜など最悪な条件下では、人は1mの津波高で100%死亡すると内閣府が分析しているが、予定地の最大浸水予測はどのくらいか。

消防長

最大で3.1mとなっている。

問

浸水区域に消防署を建てることは消防庁の法令や指針に合致しているのか。また、津波浸水想定区域図やハザードマップは公共施設建設場所には全く関係ないのか。

消防長

法令等に合致しているか、まだ検討していない。

町長

浸水しないところが良いとは思いますが、一番大事な救急を考えると、近くに適地がない。地域住民にも理解されている。私はこの落部地域で最良の場所と考えている。

Q

スケートボードパークを整備しよう

A

町民の声を聴き、検討する

問

交通事故の心配のないスケートボードパークを望む声がある。総合体育館そばの交通公園を改修し整備してはどうか。

教育長

ケガがつきもののスポーツであり、その責任を設置者や管理者に転嫁するケースが多い。また利用マナーの問題から苦情が多く、運営が難しい施設だと認識している。今後住民からの要望があれば考えたい。

問

教育執行方針にも「多様化するライフスタイルに応じたスポーツ情報の発信と機会の確保に努める」とある。まさしくスケートボードパークのことを言っているのではないか。

町長

新しいことは取り入れていくべきと思うが、若い人の声をもう少し聴きながら考えたい。

Q 自治基本条例を遵守すべき！

A 町のためになることは、必ずやり遂げる

あかい 赤井 議員
むつみ 睦美 議員



問 年々漁獲量が減ることによる水産業の衰退を、何とか食い止めようとサーモン養殖事業が提案

され、新年度予算に上八雲のふ化施設取得の予算も計上されたが、総事業費の予算、事業の目標や目的に至るまでのスケジュールも明確にされていない。

自治基本条例第40条に「行政は、総合計画に基づいて予算を編成し、中長期的な財政見通しに留意しながら計画的かつ健全な財政運営を図るものとします。」とあるが、サーモン事業は総合計画にも載っ

ていないため、中長期的な財政見通しも示されていない。全体像を示されない中で、一部だけは認めるといふやり方は、かなり乱暴。今回のような大きな金額を動かす事業であるからこそ、より丁寧な説明と慎重に進めることが重要だと思うが、町長の考えを伺う。

町長 説明が不十分だったことは大いに反省している。

確かにそのとおりだと思うが、私はこの8年間、産業の活性化のため担当課と協議しながら、ふるさと納税に力を入れて取り組んできた。町のためになることは、乱暴でも型破りでも信念を持って進めて行く。サーモン養殖事業と

フェリーは必ずやり遂げるといふ思いでいるが、赤字になるものはやらない。いつでも軌道修正をす

問 ふるさと納税がなくなっても収益に困らない方法を研究するのはよくわかるが、ルールがある以上、ルールに沿って進めるべき。

ここで前例を作ると、今後もっと横暴な町長が出てきた場合、勝手なことをしても許されてしまう。みんなで作った自治基本条例はしっかり守るべき。暴挙は議会が止める。

町長 総合計画は、今年見直しの年でもあるので、サーモン事業をしっかりと載せながら、進めて行く。

あの時、なぜ止めなかった？
と言われないように、この事業は注視していかなければ。
大久保

Q 子どもに優しいまちづくりを！

A 今後、真剣に取り組む

問 ユニセフが提唱する「子どもに優しいまちづくり事業（CF

C1）が開始され、二セコ町、安平町、宮城県富谷市、東京都町田市、奈良県奈良市の5市町が実践自治体として承認された。

こどもに優しいまちは、結果的にみんなが幸せになれるまちづくりを目指すこと。八雲町も子ども達の意見にしっかりと耳を傾けて、町民誰もが幸せを実感できるまちを目指そう！

町長 子ども達がまちづくりに主体的に関わっていると実感することも重要だと認識しているので、二セコ町や安平町の事例を参考に研究していく。

問 8年前に、住民自治意識を高めるために中高生の意見をまちづくりに活かす仕組みを作ったほしいと提言した時、平成27年度中には町長と話し合うための仕組みを作るとの答弁があり期待していたが、その後どうなっているのか。

町長 あの時はやる気だったが、なかなか進まず実行できなかったことを反省し、今後真剣に取り組んでいく。

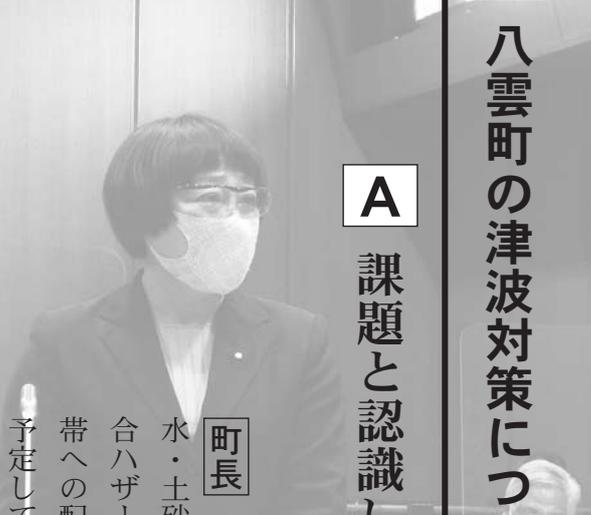
Q

八雲町の津波対策について

A

課題と認識し対策を進める

倉地 清子 議員



問

令和3年7月、北海道は、国の「日本海溝沿いの巨大地震モデル」公表を受けて、「北海道太平洋沿岸における津波浸水想定」を公表した。この想定によれば、八雲町の浸水想定面積は渡島で2番目に大きく、最大津波水位は3番目に高いと示しており、影響が大きいと思われる。

津波対策について計画の進捗状況を伺う。
①ハザードマップの日本海溝モデルへ早めの改正が必要ではないか。

町長

令和4年度に、津波・洪水・土砂災害を一つにまとめた総合ハザードマップを作成し、全世界への配布とウェブ版での周知を予定している。

問

マップも大事だが、逃げる方策を住民が把握していくことも大事と考える。町内会と連動しながらマップの利用を進めていきたい。

②コロナ禍という大きな変化の中、避難所のあり方も変わる必要があるのではないか。災害が起きた時間帯、備蓄の件、女性への細やかな対応など、様々な問題に取り組み防災専門の課を作る必要があるのでは。

また、一人でも多く力とされるよう、防災アドバイザー養成講座を設けてはどうか。

町長

強い揺れや長い揺れを感じる

じたら、いち早く海岸から離れ、より高い場所に避難すること。新型コロナウイルス感染症の対策として、指定避難所だけではなく、車中や知人宅などでの分離避難も必要と考える。

専門部署の設置は、人材が足りていないのが課題であるが、募集しながら進めていきたい。防災の講座については、準備には少し時間がかかるが、進めていきたい。

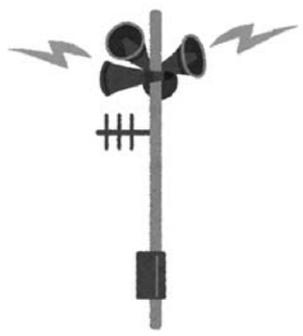
問

③情報が得られにくい家庭については、戸別受信機が必要ではないか。緊急時のお知らせをどのように考えるか。

津波の情報には防災無線を考えているが、携帯電話を利用したスマートフォン、戸別受信機等、伝える手段を検討していきたい。

町長

津波が来たら逃げるということ



問

④平成25年に作成した「八雲町災害時要援護者避難支援プラン」に基づき、75歳以上の高齢者のみの世帯や要介護者（要介護度3〜5）、障がい者及び難病者など要援護者への避難支援対策について、町内会などと覚書を締結して取り組むことになっているが、対象となる団体数と、現在、覚書を締結している団体はいくつあるか。

町長

また、今後の避難支援対策の取り組みをどのように考えているか。避難行動計画を策定するうえで、対象となる町内会は126町内会あり、覚書を締結しているのは21町内会となっているが、町内会で支援するのは難しいのではないかと考えている。
津波が来たら逃げるということ
を伝えながら進めるのが一番得策ではないかと考えるが、国の施策もある中で、その辺も注視しながら進めていきたい。

Q

住民健診にバス送迎導入を

A

希望者が少なく、公用車を利用

ともこ 議員
佐藤 智子

問

地域ごとに行っていた健診会場は大幅に減らされ、車を運転しない高齢者は会場に行くのも容易ではない。遠方の対象者には送迎バスを用意すべきではないか。

町長

住民健診は平成29年度までは地域の会館を巡回して実施していたが、特定健診制度の改正に伴い、眼底検査や心電図検査などの詳細な検査を当日に実施しなければならなくなった。

そのため、平成30年度からは、八雲総合病院と熊石国保病院を健診機関としていたのを変更し、大型の検診車を保有する町外の健診

機関に委託することになり、会場や時間に制限が生じた。健診会場の縮小に伴い、バスによる送迎を計画したが、希望者が少なかったため、公用車での個別送迎に切り替えている。

Q

八雲高生へのパソコン購入補助を

A 支援は必要ない

問

八雲高校でも、今年の4月からパソコンやタブレットを使ったりICT（情報通信技術）教育が始まる。

北海道は原則保護者負担という方針だが、新しく購入すると一台4万5千円程度かかる。一部を補助してはどうか。

町長

生徒がすでに所有してい

る端末を学校に持ち込むことは認められており、低所得者世帯の生徒には学校に整備された45台のクロームブックの中から貸し出すことになっており、支援は必要ないと考えている。

教育長

八雲高校は各学年約80名。1年生から3年生まで、約240名に対しての45台だが、低所得者世帯を算定したうえで、台数であり、不足は生じない。



Q

家業に従事する青年たちを応援しよう

A

施策、研究する

問

地元に残って農業・漁業・商工業を継ぐ人、その兄弟姉妹も家業を支えている。中卒・高校中退者も含めて、これからの八雲を担う青年たちを励ます施策を考えられないか。

町長

令和4年度の新事業「I

ターン・Uターン就職奨励金事業」は「働く人をつくる」をテーマに八雲町を離れてUターンされる方や、新たに転入されるIターンの方が1年以内に正規雇用された場合に最大2年間の奨励金を交付する制度である。

地元の中卒・高校中退者にも新しく就職する方には支給する。ただ、町内の後継者（家業従事者含む）支援は、また別なことであり、色々な意見を聞きながら研究を深めたい。

Q プラスごみの回収 実施する考えは

A 可能な段階で実施したい

問

プラスチック資源循環促進法」が4月から施行される。文房具やおもちゃなど一括回収する考えはあるか。

町長

一括回収を実施する場合、分別作業が増える。委託業者の人員体制強化と委託料の増額等、準備期間が必要だが可能な段階で実施したい。

Q 立場の弱い人が相談できる体制か？

A 今後も取り組んでいく

みさわ 三澤 議員
きみお 公雄 議員



問 「八雲町こどものいじめ防止条例」のような「いじめをなくそう」という強い精神で、職場でのハラスメントに対応できないのか。

か。

町長 役場も働く環境を整え、「持続するまちづくり」のためには、働きやすい職場づくりを意識した対応が必要と考える。

総務課長 意識を高めて、「八雲町は絶対にハラスメントは許さない！」と町内外に広く知らしめるためにも、条例化は必要。

これまでの流れ

令和元年9月定例会で、「ハラスメント規制法に基づいて条例を作るべきでは？」の問いに、町長は「今ある指針（内部規程）で十分だ」と答えた。

今ある指針とは

「パワーハラスメントの防止等に関する指針」（平成26年4月施行）

そして同年には

「八雲町子どものいじめ防止条例」（平成26年9月施行）

・相手に身体的・心理的「苦痛」を感じさせたなら「いじめ」であると定義。

職場のハラスメントにも当てはまるのでは？

CO2削減量を、お金に換算できる取引

Q J-クレジット制度に

手を上げては

A 全町を巻き込んで

ゼロカーボンへ

問 「八雲町地域再生可能エネルギー導入戦略」を画餅にさせないため、カーボンニュートラルの実現に向けた町長の考えは？

また、J-クレジットという制度があるが、どこまで考えているか？

町長 各課の連携を密に行い、掲げた目標に向かって取り組んでいく。地球温暖化問題への関心や脱炭素意識について、改めて強く認識していく必要がある。

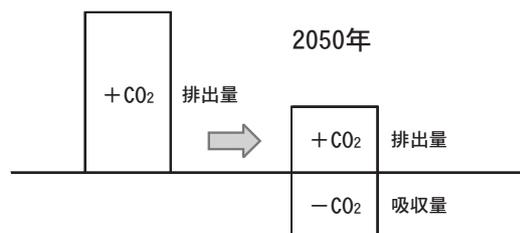
商工観光労政課長 J-クレジットについては、「導入戦略」を策定している段階では議論はされていない。CO2削減量をお金に替えるという部分については、申請から国の認定まで、2〜3年程

前号の「議会広報」12ページに「八雲町のCO2削減量、約6万2千トンは見込める！」とあるが…

J-クレジットに認定され、2,000円/トンで取引されたら…

1億2,400万円になる！

2050カーボンニュートラルとは？



2050年までに二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」を、植林や森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

度を要することが課題ではあるが、今後検討していきたい。

Q 八雲町の地球温暖化対策は

A 世界共通の問題、
様々な主体の協力・連携が必要

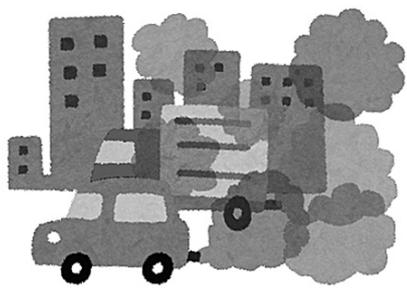
よこたきよし 議員
横田喜世志



問 地方公共団体は、「地球温暖化対策の推進に関する法律（地球温暖化対策推進法）」に基づき、「地方公共団体実行計画」を策定するものとされている。実行計画は2種類あり、「事務事業編」と「区域施策編」があるが、八雲町の策定状況は？

また、各種再エネの補助金や交付金を活用して、「脱炭素化事業」などの計画に、どのように反映させようと考えているのか伺う。

町長 策定が義務付けられている「事務事業編」は、地方公共団体の事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出量の抑制等を推進するための計画であり、平成20年度に「八雲町温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定し、町内の公共施設における節電など、温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを実施している。



また、「区域施策編」は現在策定していないが、これに繋げる計画として「八雲町地域再生可能エネルギー導入戦略」を策定中であり、取り組みを推進していく。

「改正地球温暖化対策推進法」が令和4年4月1日から施行されることから、「区域施策編」の策定に向けて取り組み予定であり、地域脱炭素化促進事業に関する事項として、北海道から新たに示される基準に基づき、促進区域の設定や地域の環境保全のための取り組み、地域の経済と社会の持続的発展に資する取り組み等について検討していく。

「脱炭素化事業」などの計画に、どのように反映させるかについては、地域資源を活用した再生可能エネルギーなど、地域課題の解決に向けた事業の展開がされるよう検討していきたい。

議会これからの予定

- 《5月》 12日 総務経済常任委員会
- 19日 文教厚生常任委員会
- 《6月》 2日 議会運営委員会
- 7日～9日 第2回定例会
- 全員協議会
- 総務経済常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 広報広聴常任委員会
- 議会運営委員会

議会を傍聴してみませんか

次の議会は、
令和4年第2回定例会
6月7日（火）午前10時から
開会の予定です。
お気軽に足を運んでみてください。
YouTubeで映像配信もします

定例会・臨時会議件一覧

令和4年第2回臨時会（令和4年2月22日）			
議案第1号	令和3年度八雲町一般会計補正予算（第10号）		
令和4年第1回定例会（令和4年3月9日～16日）			
議案第1号	令和4年度八雲町一般会計予算	議案第20号	令和3年度八雲町病院事業会計補正予算（第5号）
議案第2号	令和4年度八雲町国民健康保険事業特別会計予算	議案第21号	八雲町合葬墓条例の一部を改正する条例
議案第3号	令和4年度八雲町後期高齢者医療特別会計予算	議案第22号	令和3年度八雲町一般会計補正予算（第12号）
議案第4号	令和4年度八雲町介護保険事業特別会計予算	議案第23号	令和4年度八雲町一般会計補正予算（第1号）
議案第5号	令和4年度八雲町熊石地域簡易水道事業特別会計予算	同意第1号	八雲町教育委員会教育長の任命に関し同意を求めることについて
議案第6号	令和4年度八雲町下水道事業特別会計予算	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第7号	令和4年度八雲町農業集落排水事業特別会計予算	諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第8号	令和4年度八雲町病院事業会計予算	諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第9号	令和4年度八雲町水道事業会計予算	発委第1号	ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議
議案第10号	八雲町自治基本条例の一部を改正する条例	発議第1号	ケア労働者の大幅賃上げと職員配置基準の見直しを求める意見書
議案第11号	行政手続における押印見直しに伴う関係条例の整備に関する条例	発議第2号	給付型奨学金制度の拡充と教育費負担の軽減を求める意見書
議案第12号	八雲町個人情報保護条例の一部を改正する条例	発議第3号	地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書
議案第13号	八雲町一般職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	発議第4号	高齢者の医療費窓口負担の2倍化を中止し、「原則1割」の継続を求める意見書
議案第14号	八雲町地域会館等条例の一部を改正する条例	発議第5号	「敵基地攻撃能力」の保有の検討を行わないことを求める意見書
議案第15号	八雲町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	発議第6号	介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書
議案第16号	八雲町特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例	発議第7号	日米地位協定の見直しを求める意見書
議案第17号	指定管理者の指定について	予算特別委員会審査報告書	
議案第18号	指定管理者の指定について	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書	
議案第19号	令和3年度八雲町一般会計補正予算（第11号）		
令和4年第3回臨時会（令和4年3月28日）			
議案第1号	八雲町サーモン種苗生産施設条例		

異議あり!

第1回定例会 賛否一覧 (反対のあった議案を掲載)

賛成 ○ 反対 ×

議案名	採決結果	赤井陸美	佐藤智子	横田喜世志	大久保建一	関口正博	宮本雅晴	倉地清子	三澤公雄	牧野仁	安藤辰行	能登谷正人	斎藤實	黒島竹満	千葉隆
議案第1号 令和4年度八雲町一般会計予算	可決	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	/
議案第8号 令和4年度八雲町病院事業会計予算	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第20号 令和3年度八雲町病院事業会計補正予算(第5号)	可決	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	/
発議第1号 ケア労働者の大幅賃上げと職員配置基準の見直しを求める意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	/
発議第2号 給付型奨学金制度の拡充と教育費負担の軽減を求める意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	/
発議第3号 地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書	可決	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
発議第4号 高齢者の医療費窓口負担の2倍化を中止し、「原則1割」の継続を求める意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/
発議第5号 「敵基地攻撃能力」の保有の検討を行わないことを求める意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	/
発議第7号 日米地位協定の見直しを求める意見書	否決	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	/

※千葉隆議長は、賛否同数の場合にその可否を決定します。

第3回臨時会 賛否一覧 (反対のあった議案を掲載)

議案第1号 八雲町サーモン種苗生産施設条例	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
-----------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※千葉隆議長は、賛否同数の場合にその可否を決定します。

議会報告会の日程が決まりました (予定)

令和4年7月20日(水)

皆さんの声を聞かせてください

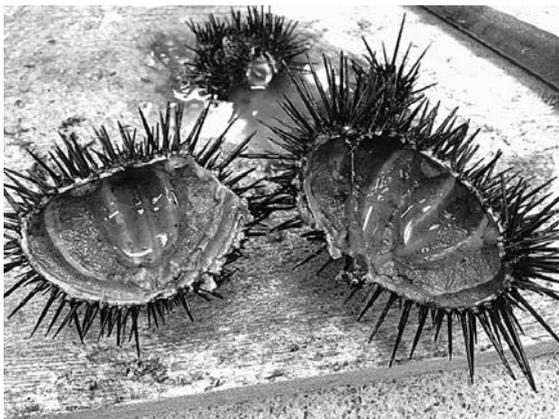
- 会場 はぴあ八雲 13:30~
- 会場 くまいし館 18:00~
- 会場 落部町民センター 18:00~



**アルコール消毒、マスク着用など
新北海道スタイルに基づき開催します**

(注) 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止又は延期する場合がありますので、御了承ください。

<令和2年度の取り組み>

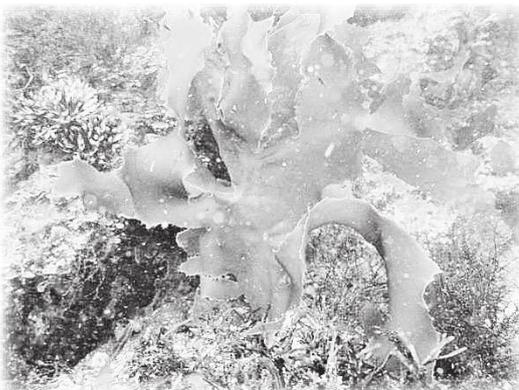


〈実入りのないウニ〉

② コンブ資源の減少！

ウニによる食害と共に、海洋環境の変化に伴い、コンブ資源の著しい減少が確認された。

コンブ資源は、多くの組合員が利用する資源であり、その回復は喫緊の課題となった。



〈ウニはコンブが大好物！〉



〈ダイバーによる痩せウニ駆除の様子〉

ダイバーに委託する費用も膨大なうえに、駆除されたウニはお金をかけて処理していた。給餌養殖では、身入りや色合いに一定の成果を得られたが、天然と比べ薄味との評価。餌料の配合に改善が必要。

陸上養殖については、ポンプ稼働によるエネルギーコストを考えると採算性が取れないことが確認された。また、老体の個体では実入りの改善はなかった。

① ウニの大量発生！

ホタテのかごにはウニが大量にくっついていきます。海域内のウニ密度が高く、身入りの状況も悪いため、販売価格も低下。さらに、コンブを食い荒らすため、藻場の荒廃にもつながっています。

③ 駆除事業

町の助成も得て、令和2年度から、コンブ礁の設置事業が開始。この事業を有益なものとするため、ウニ駆除計画を実施、ダイバーに委託し、ウニの駆除に乗り出す。

しかし、単に駆除ウニを廃棄するだけでは、持続性の確保が困難なため、北大の協力を得て給餌養殖実験を開始。陸上での水槽試験（1トンタンク4個）と漁港内等でのかご（12本）の養殖試験を実施。

「北三陸ファクトリー」は岩手県にある会社で、やせウニに上質な餌を与えて、身入りの良いウニを生産しています。

特集 「ウニの畜養実証試験」

今回は、落部漁協と北大、北三陸ファクトリーが共同で行った「ウニ畜養実証試験」について特集しました。

<令和3年度の取り組み>

① 駆除体制

ダイバー委託だけでは、駆除費が膨大となるため、今後の持続性も考え、漁業者による駆除手法（延縄式ウニざる漁法：特別採取許可による）を確立。



〈このかごにウニ入っています〉



② ウニの適正密度

空中ドローンによる、俯瞰的な浅海漁場図の作成と、これに基づいた箇所への水中ドローンによる海底状況調査により、北大の協力を得て適正密度を把握し、今後の駆除に活用できる体制とした。

③ 給餌養殖

漁港内に籠（18本）、提携先企業が提供した生簀型籠（4基）を使用し、駆除ウニ約12,000個を養殖。

給餌は、週1回給餌と隔週給餌の試験を実施し、養殖密度・給餌効果の検証を実施。

養殖成果品は、提携先企業による加工販売試験により、好結果を得ることができた。養殖密度・給餌量の効果については現在北大にて解析中。



【一石三鳥の取り組み】 コンブを守るためにウニを駆除し、そのウニをただ捨てるのではなく、餌を与えて身入りをよくして販売するこの取り組みは、コンブも育ち、ウニの収益にも結び付き、森林の2.5倍の吸収力と言われているコンブ礁による二酸化炭素（ブルーカーボン）の削減にも貢献できる、まさに持続可能な取り組みです。令和3年に水揚げしたウニの97%はA級品で、残りの3%はウニバター等に加工販売。削減された二酸化炭素は、国が認証する『J-クレジット』として大企業が買うと、その収益は自治体に入ってくるという仕組み。そうなると、まさに一石三鳥！この事業、本格的に稼働してほしいですね！

常任委員会 の活動

令和4年2月から4月の
各常任委員会の活動です。

文教厚生

所管各課から報告を受けた中で
主なものをお知らせします。

【保健福祉課】

社会福祉協議会が行う八雲デイサービスセンター送迎車両は老朽化により更新予定でしたが、東南アジアの新型コロナウイルス感染拡大による部品の欠品、半導体の欠品により生産が遅れ、令和3年

度の納車ができないため、事業は中止となりました。

【環境水道課】

町内の海岸線に漂着するプラスチックごみ等を、地域住民やボランティア団体等の協力を得ながら回収・処分することになりました。今回は黒岩大川地区く山崎川の2・3kmで、6月頃に実施の予定です。



くちばしが動かず餓死した鳥

年々、海にはプラスチックごみが増え、このままいくと2050年には、魚の量よりもゴミの量が多くなると言われています。死んだウミガメのおなかの中から、大量のプラスチックごみが出てきたり、網のゴミがくちばしや体に巻き付いて餓死して

しまった鳥の姿も見られます。子々孫々に豊かな海を残すためにも、今、しっかりと考え、全町民で取り組みたいですね！



クジラの胃の中から100kgのごみ！

【総合病院】

令和3年度決算見込みについて報告がありました。

10年前は、病院への基準内繰入が4億円程度でしたが、今は地域の医療を守るため国の繰入基準が変わり、総合病院への基準内繰入は約12億円となりました。医師・スタッフ等の経営改善の努力もあり、病院経営は黒字となっております。このまま国の方針が変わらないことを祈るばかりです。

八雲総合病院 令和3年度決算見込み

令和4年1月末現在

	令和3年度 (決算見込み)	令和2年度 (決算)	R2-R3	対前年比
収益総計 A	58億858万円	56億 2,916万1千円	7,941万9千円	103.2%
費用総計 B	53億 8,356万9千円	54億 2,744万4千円	△ 4,387万5千円	99.2%
差引収支 A-B	4億 2,501万1千円	2億 171万7千円	2億 2,329万4千円	210.7%
内部留保資金	12億5,363万円	6億 5,746万9千円	5億 9,616万1千円	190.7%

ご協力をお願いします！

文教厚生常任委員会では、「子育てに関するアンケート」を実施します。

保育園や幼稚園、各学校に手紙を配布しておりますが、そのほかの町民の皆さまには6月の町広報にチラシが入りますので、ご協力をお願いします。

所管各課から報告を受けた中で、主なものをお知らせします。

●サーモン種苗生産施設等の取得について（産業課）

熊石地域にある「さけます内水面水産試験場道南支場」を北海道から取得したところであるが、種苗生産過程におけるウイルス等の感染事故防止の観点から、上八雲地区にある「ふ化施設」についても、取得を予定している。

上八雲地区ふ化施設の概要

- ・ 養魚池は5基。
- ・ 飼育池は6基。
- ・ 建物は管理棟、飼育棟、車庫。
- ・ 湧水は毎分4・0トン、温度6℃～7度。
- ・ 温泉は毎分0・06トン、温度23度。
- ・ 施設の能力は種卵ふ化数10万粒、稚魚生産数10万尾。

●八雲消防署落部出張所併設八雲消防団第6分団格納所の建設候補地について（消防本部）

建設予定地として示された落部駅前土地は、日々の救急、火災出動の対応等を考慮すると適地であるとの報告があった。地盤の嵩上げなど、1m～3mの津波の高さに対応した建て方を検討している。

浸水区域に公共の建物を建てることについて法令的に合致しているのだろうか？

●八雲町役場新庁舎等建設事業について（総務課）

国立病院機構八雲病院跡地、旧八雲養護学校校舎及び跡地の取得にかかる費用やスケジュールについて報告があった。

八雲病院跡地の価格

更地とした場合の不動産鑑定評価額は約3億円。
建物解体撤去費用
アスベスト除去費用を除いた費用は約6億円。

譲渡にかかる条件等

土地の価格約3億円と比較し、建物解体費用約6億円の方が高額なことから、土地・建物を0円で譲り受け、建物の解体を町で実施する。

土壌汚染対策工事及び建物のアスベスト除去については、国立病院機構の費用負担で行う。

スケジュール

土壌汚染対策工事は令和5年度アスベスト除去工事は令和6年度に予定。

旧八雲養護学校校舎等の取得

・ 建物は公共の用途で使用するため無償で譲与される見込み。
・ 土地は実施設計に合わせ購入予定。



八雲病院跡地

●熊石地域審議会の今後の進め方について（地域振興課）

熊石地域審議会（熊石議会）は熊石地域における振興と地域の均衡ある発展を図るための町長の付属機関であり、町長の諮問に応じ、審議し答申するほか、町長に意見を述べることが出来る。

委員 公募による14名。

定例会 年6回開催。

常任委員会 総務経済と文教厚生。

年2回開催。

全員協議会 年2回開催。

委員を経験された方で「我こそは！」と思う方は、是非、町議会議員に立候補を！

●行政手続における押印見直しについて（総務課）

令和4年4月1日から、申請者等の負担軽減と利便性の向上を図るため、1325件の手続きに対し、1092件の押印を廃止する。

耳をすまして

町民の皆さまの声が聞きたくて、議会を飛び出し町内の色々な団体やサークルなどの皆さまの声を聞いてみました。

今回は

八雲青年会議所の皆さまです！

Q どのような活動ですか？

まちづくり委員会、ひとづくり委員会、総務拡大委員会を設け、町民向けのイベント開催や、能力向上のためのセミナーなどの勉強会、他のJC団体との交流などの活動を行っています。

Q 議会広報は見ていますか？

議会としての政策のビジョンとか載せてもらえれば、私たちもまちづくりに結び付けていけるのかなと思います。

Q 議員に立候補できそうな方はいますか？

OBにはその逸材は確かにいます。逆に議員になれるような人材を紹介してください。

Q 八雲にあったらいいなと思うことは？

ホタテの浜焼きを食べさせてくれる場所。木彫り熊のPRをもっとしたらどうか。郷土資料館も場所がわかりにくく、何だかもったいない。

Q 八雲に足りないものは？

公園の遊具などの管理面。遊具があれば子どもは遊ぶと思うし、防犯カメラがあれば安心できる。

病院の医師・スタッフの充実と確保。

Q 役場新庁舎建設について思うことは？

町の要である場所だから、何があっても機能不全にならないようにしてほしい。

50年60年経っても、維持管理の経費がかからない建て方が好ましい。



Q その他なにかありますか？

以前、八雲高校に農業専門の学科があった。酪農の町を活かして、このような学科を設けたら町外からも来てくれるのではないかな。卒業後の雇用にも繋がるような気がします。

Q 八雲青年会議所のPRを是非！

来年50周年を迎えますので、記念事業を計画しています。町民も巻き込んでの事業を考えていますので、期待してください。

仲間を募集しています。JCに入りたい若い青年の皆さま、是非一緒に活動しましょう！女性も大歓迎です！

～取材を終えて～

青年会議所出身の議員が数名いることが、今回の取材でよくわかりました。組織としてしっかり柱を立て、それぞれの部門で共有し連携が取れている。人との繋がりを大切にし、「まちづくり」に積極的に取り組んでいると感じました。



営利を目的とする場合を除き、この議会広報誌をそのまま読むことが困難な方のために、録音図書・拡大写本等へ複製することを認めます。製作後は八雲町議会事務局（☎0137-62-2388）へご報告ください。

編集後記

「耳をすまして」の取材ではびあ八雲内に事務所を置くJC（青年会議所）の皆さんを訪ねました。

8人の青年が集まってくれましたが、こちらでちょっと投げかけると、次々と話をしてくれる。問題意識を持って活動されているという印象でした。

JCの皆さんの中から未来の議員が誕生するかもしれないですね！そう思うとんだか楽しみです。八雲の将来を担う若い世代の皆さんに期待しています。

「耳をすまして」は、広報広聴常任委員会が個人や団体を訪ねて取材するコーナーです。呼んでくだされば嬉しいですし、紹介してくださいさるのも大歓迎です。今後とも、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

議会広報広聴常任委員会

委員 佐藤智子